

さくら



令和5年5月15日(月)

一日一善 (いちにちいせん)

一日一善



先日、ある方から嬉しいご連絡をいただきました。ある日、その方のお子さん（小学生）が、お金の入った封筒を土佐公園で落として泣いていたそうです。そうしたところ、公園内で「〇〇ちゃんいますかー」との声が聞こえてきました。封筒を拾った人が機転を利かし、封筒に書いていた名前をもとに落とし主を探してくれていたのでした。かくして、お金の入った封筒は無事に小学生に戻りました。

封筒を拾ってくれたのは、本校の生徒だったようです。ご連絡をくださった方は、とても感謝しておられました。とてもいい話です。このエピソードで、これは自分（たち）のことだと思った人は、担任の先生に申し出てください。私からもお礼を言いたいと思っています。

「一日一善」という言葉があります。この言葉は仏教に由来しています。お釈迦様は善い行いを六度万行（ろくどまんぎょう）としました。その内容は、「布施（ふせ）＝親切にする」「持戒（じかい）＝約束を守る」「忍辱（にんにく）＝忍耐」「精進（じょうじん）＝努力する」「禪定（ぜんじょう）＝反省する」「智惠（ちえ）＝考え智恵を高める」の六つです。お釈迦さまは、この六つのどれか一つでも一日の中で実践することで、他の五つも行ったと同じ事になると説きました。

善い行いのことを「善行（せんこう）」と言います。善行は徳を積み重ねることであり、やがてよい形で自分に返ってきます。とりわけ、世のため人のために尽くすことは大切ですよね。

このことを自分事をして考えてみましょう。毎日、一つでも何か善い行いをしてみませんか。困っている人を助ける、人に優しい言葉がけをする、教室に落ちているごみを拾って捨てるなど、善い行いは当たり前のことばかりです。一人一人が善い行いを意識すれば、皆さんの家庭生活や学校生活はさらに豊かなものとなるでしょう。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

